

真校日より第110号 令和6年5月号

ふきのとう

最北地区高等学校総合体育大会



令和6年5月11日(土)から12日(日)にかけて、地区高校総体が開催され、真室川校から柔道部とバドミントン部の選手たちが出場しました。バドミントン部の女子は、本校と合同チームを結成して団体戦にも出場することができました。この大会に向けて、練習に励み、仲間と切磋琢磨してきた経験が、生徒一人一人の人間力を高めていることが伝わる充実した大会でした。

○柔道部 3年 佐藤颯斗
「柔道部員として3年間続けられたことを誇りに思います。苦闘した日々も、今は最高の思い出です。」

○バドミントン部 **県大会も頑張ろう!**
3年 荒川舞桜・荒木英美梨・五十嵐優衣
2年 加藤太一・栗田愛梨・佐藤光希
・女子団体(本校との合同チーム) **県大会出場!**
・女子ダブルス 荒木・五十嵐 ベスト6 **県大会出場!**
「この3年間、県大会出場を目標にして、部員全員で練習を頑張ってきたので、今回、初めて県大会に出場できることになってとても嬉しいです。県大会でも、練習の成果を発揮して、粘り強く、チャンスを見て果敢に攻める私たちにらしいプレーをしてきます。」

最北地区高等学校総合体育大会・壮行式



令和6年5月2日(木)の地区高校総体壮行式の模様です。応援団を中心に全校をあげて、地区総体に出場する選手たちを激励しました。各部部长から、力強い決意表明がなされました。

全校ボランティア①(道路清掃・ゴミ拾い・駅清掃)



空き缶がたくさん!

虫の死骸がたくさん!

令和6年5月1日(水)に真室川校恒例の全校ボランティア活動を実施しました。「地域を愛し、地域に生きる」を生徒会スローガンにする真室川校で、20年以上継続している取り組みです。縦割り班(5班)が3つのコースに分かれて学校周辺の通学路や真室川駅の清掃を行いました。当日は、真室川町教育委員会より教育長様をはじめとする3名に激励に駆けつけていただいたほか、山形新聞にも取材していただきました(5/3付掲載)。

生徒たちは、仲間たちと楽しく会話を弾ませながらボランティアに取り組みました。本校では学校行事の際などに、可能な限り多くの生徒に人前で意見を述べる機会を設定していますが、今回も3年生全員に意見発表の機会を設けました。今後も、地域の方々に喜んでいただけるようなボランティア活動を実施しながら、生徒個々の成長につなげていきたいと思ひます。

学校HP
ご覧ください



前期生徒会総会 みんなが主役!



令和6年5月2日(木)に前期生徒会総会が開催され、「地域を愛し、地域に生きる」「直往邁進」のスローガンの下、「心のこもった挨拶ができる真室川校生になる」ことを目標に、生徒会活動を展開していくことを決定しました。

真室川町伝承野菜の植え付け



令和6年5月9日(木)と28日(火)の2年生の家庭科の時間に、校舎北側の畑で、甚五右エ門芋と勘次郎胡瓜の植え付けを行いました。非常勤講師の奥山洋子先生、学校技能員のお二人の指導の下で、みんなで協力しながら、楽しく植え付けすることができました。また、この模様は山形新聞にも取材していただきました(5/15付け掲載)。今後は、あさひ小学校や地域の方々と、収穫及び調理を通して伝承野菜についての理解を深めていく予定です。

リーディングスキルテスト実施

令和6年5月14日(火)にリーディングスキルテストを実施しました。生徒の読解力を把握することで、学習のつまづきの原因を見つけ出し、生徒の学習改善と教員側の授業改善につなげることを目的としています。実施に当たっては、真室川町から資金援助を受けています。今回のテスト結果に基づいて、学習及び授業のあり方を見直ししていきます。

